

## 町長あいさつ

皆様の温かいご支援をいただき、令和6年12月24日付けで町長に就任いたしました。

「停滞の町から挑戦の町へ」をもっとうに、皆で考えて思い切って挑戦！失敗があってもまた考えて動く。“今までどおり”が通用しなくなってしまった今の時代、町づくりには町民の皆様の知恵や力が重要です。そのための新しい仕組みと協調関係を作ります。町政を前に進めるために何ができるのか、町民の皆様の声に耳を傾け、向き合ってまいります。

私がこれまで民間で培ったノウハウ、全国や海外を回り得た経験を、町づくりに存分に生かしてまいります。民間の考えも取り入れ、町民と職員と議会が一緒になって対話をし、明日の御宿町のデザインを作ります。討論会を開催し、町民の皆様と議論を深め、幅広い知見を集約します。一案に肩入れしすぎず、公正に検討できるよう専門家を招くなど工夫します。

行政は、失敗をしないため、慎重に、粛々と物事を進めようとはしますが、それでは変わりません。失敗を恐れず挑戦し、うまくいかなかったら、その原因を突き詰め、対策を立てて前進する。この繰り返しが必要です。パリ五輪体操男子団体で金メダルを獲得した橋本選手が母校の市立船橋高校で講演を行った際、「失敗は当たり前、成功するための研究と実践を繰り返して成功に辿り着く」「結果を出すために何が必要か考え、どうなりたいかをイメージする」と呼びかけていました。

御宿町においては町民の皆様の満足度を高めることが行政の目標であると考えています。

令和4年度（2022）に実施した住民アンケートやまちづくりワークショップから「町民の皆様が求める御宿町」を目指し、第5次御宿町総合計画が策定され、令和5年度（2023）を初年度とし、令和12年度（2030）を目標年度とする計画が施行されています。

どれもが、これからの御宿町にとって大事なことです。生活に一番近い行政である御宿町を町民の皆様、職員、議会と一緒に考えてまいります。

町民の皆様からは、「御宿、変わって欲しい」という声を多くいただきました。高齢の方からは、「今のままでいい」「余計なことはしなくてもいい」という声もいただきましたが、それでは将来が見えません。大事なのは「挑戦」することです。御宿町をもっといい町にするために変えましょう、一緒にやっていきましょう。

御宿町長 原 宏